

平成 24 年度事業報告

■公益目的事業 1（「創造する伝統賞」の主催）

（定款第 4 条第 1 項第 2 項）

◆助成顕彰事業（第 19 回）

平成 25 年 2 月 12 日の理事会の審議を経て 3 名に授与した。

「第 4 回創造する伝統賞」 賞金各 100 万円

- 太田 三郎（62 歳） 美術家
- 小椋 範彦（54 歳） 漆芸作家・東京藝術大学准教授
- 杵屋 勝四郎（54 歳） 長唄唄方・財団法人長唄杵勝会理事

（1）対象

日本の伝統文化及び現代芸術の広い分野を対象とする。国籍不問。

（2）募集応募概況

発 送 先：美術館、博物館、新聞社、大学、大使館、海外日本文化研究機関、画廊
出版社（専門誌）、評論家、本財団「文化藝術の会」会員、本財団関係者、
これまでの受賞関係者、資料請求者

発 送 数：1,130 通

告 知：当財団ホームページ、邦楽ジャーナル、美術の窓

応募総数：一般公募 30 名、推薦応募 5 名

（3）選考委員会

開催日時：平成 24 年 12 月 28 日（金） 17：00～19：00

開催場所：公益財団法人日本文化藝術財団 会議室

出席者：建畠哲委員長、葛西聖司委員、金子賢治委員、寺脇研委員、茂手木潔子委員
書面出席：丹下憲孝委員

事務局：伊達事務局長、前川（記録）

選考方法：事前に選考委員に全応募者の資料を送付し、閲覧を依頼した。

選考委員会当日は、応募者から提出された DVD、CD、ポートフォリオ、論
文集、カタログ、パンフレット、著書、掲載書籍等を視聴及び回覧した。

各委員より意見を出し合い、選出候補者を絞り、さらに審議し各委員の同意の
上で、選出者を決定した。

（4）理事会の決議

平成 25 年 2 月 12 日の理事会で審議を経て、選考委員会より選出された 3 名に「創造する
伝統賞」授与を決議した。

（5）授賞式典の開催

開催日時：平成 25 年 3 月 29 日（金） 15：30～18：00

開催場所：明治記念館（曙の間／末広の間）

出席者：[受賞者] 太田三郎氏、小椋範彦氏、杵屋勝四郎氏
[選考委員] 建畠哲委員長、葛西聖司委員、寺脇研委員、茂手木潔子委員
[役員] 千玄室会長、徳山豊代表理事、北村誠代表理事、
小椋秀樹業務執行理事、野呂芙美子業務執行理事、津田恵子理事、
脇田直枝理事、安孫子正評議員、渋谷佳樹監事、佐藤禎一相談役、
伊達晟聴事務局長
[来賓] 文化庁文化課長舟橋徹氏
内容：会長挨拶、賞状・賞金目録の授与、選考委員からの選評、受賞者紹介、
記念撮影、受賞者との懇談

(6) 賞金の授与

平成 25 年 4 月 25 日、本人名義の口座に振込にて授与

(7) 受賞者の紹介

本財団ホームページ

受賞者紹介の小冊子を作成し配付（平成 25 年 7 月下旬刷上予定）

■公益目的事業 2（芸術系大学等に在学する学生及びその他の学生に対する奨学金の給付）
（定款 第 4 条 第 3 項）

◆育英事業

「日本文化藝術奨学金」

平成 24 年度育英事業として「日本文化藝術奨学金」の募集を行い、平成 24 年 6 月 10 日に選考委員会を開催。平成 24 年 6 月 13 日の理事会の審議を経て、4 名に奨学金を給付した。

奨学金給付大学生 2 名 奨学金 各 30 万円

奨学金給付大学院生 2 名 奨学金 各 50 万円

(1) 対象者

国内の芸術系大学の 3 年生・4 年生または大学院に在学し、絵画・彫刻・工芸・建築（造園を含む）・デザイン（グラフィックデザイン及び工業デザインのみ）の実技部門を専門としている学生。

(2) 募集応募概況

募 集：大 学 生 2～3 名 奨学金 1 年間 30 万円の給付

大学院生 2～3 名 奨学金 1 年間 50 万円の給付

募集期間：平成 24 年 5 月 7 日から平成 24 年 5 月 16 日

申請書類：①奨学生願書 1 ②奨学生願書 2 ③推薦書 ④成績証明書

⑤在学証明書

応募状況：大 学 生 19 名

大学院生 52 名（修士 38 名、博士 14 名）

合 計 71 名（前年度比▲39 名）

- ・本年度は前年度に比べ応募者数が激減しているが、経済的理由で奨学金の応募を志望している学生は、本年度より本財団で募集を行っている「加藤定奨学金」に応募したと考えられる。
- ・新規応募の大学は3校。(京都嵯峨芸術大学・長岡造形大学・東京純心女子大学)
- ・大学院生の応募者が大学生の約3倍となり、応募者数の差が広がっている。

(3) 選考委員会

開催日時：平成24年6月10日(日) 13:30~15:30

開催場所：公益財団法人日本文化藝術財団 会議室

出席者：井上隆邦委員長、川村悦子委員、中山ダイスケ委員、野呂芙美子委員、
脇田直枝委員

事務局：寺脇事務局長、前川(記録)

- 選考資料
- ・応募書類一式
 - ・日本文化藝術奨学金 学校別応募人数
 - ・日本文化藝術奨学金 学校別応募人数の変化
 - ・日本文化藝術奨学金 学校別これまでの受給者
 - ・日本文化藝術奨学金 受給者一覧
 - ・併願者一覧

○選考方法

【大学生】事前審査により候補者を数名ずつ選出し、本審査にて各候補者の推薦理由をそれぞれ挙げ、満場一致でまず1名を選出した。再び審査を行い、最終投票により過半数を超えた1名を候補者として選出した。

【大学院生】事前審査により候補者を数名ずつ選出し、本審査にて各候補者の推薦理由をそれぞれ挙げ、満場一致でまず1名を選出した。再び審査を行い、最終投票により過半数を超えた1名を候補者として選出した。

(4) 理事会の決議

平成24年6月13日の理事会で審議を経て、選考委員会より選出された4名に奨学金授与を決議した。

(5) 奨学金給付

平成24年7月 前期分として給付金の半額を本人名義口座に振込にて給付。

平成24年10月 後期分として給付金の残金を本人名義口座に振込にて給付。

「加藤定奨学金」

平成24年度育英事業として「加藤定奨学金」の募集を行い、平成24年6月10日に選考委員会を開催。平成24年6月13日の理事会の審議を経て、5名に奨学金30万円を給付した。

京都・奨学金給付大学生3名

全国・奨学金給付大学生2名

(1) 対象者

国内の文化・芸術系大学の3年生・4年生または修士課程に就学する学生で、学業優

秀、品行方正で、就学に耐える健康体でありながら経済的事由によって就学に支障をきたしている学生。

(2) 募集概況

募集： 京都 3名 奨学金 1年間 30万円の給付
 全国 2名 奨学金 1年間 30万円の給付

募集期間：平成24年5月7日から平成24年5月16日

申請書類：①奨学生願書 ②所属大学学科専任教官による推薦書
 ③成績証明書 ④在学証明書 ⑤所得証明書類

応募状況： 京 都 12名
 全 国 21名
 合 計 33名

- ・本奨学金は「財団法人加藤定育英会」より事業を引き継ぎ、本年度より募集を行った。
- ・本年度の応募状況は21校より33名。
- ・「日本文化藝術奨学金」との併願は10名。

(3) 選考委員会

開催日時：平成24年6月10日（日） 13：30～15：30

開催場所：公益財団法人日本文化藝術財団 会議室

出席者：井上隆邦委員長、川村悦子委員、中山ダイスケ委員、野呂英美子委員、
 脇田直枝委員

事務局：寺脇事務局長、前川（記録）

- 選考資料
- ・応募書類一式
 - ・加藤定奨学金 学校別応募人数
 - ・加藤定奨学金 受給者一覧
 - ・併願者一覧

○選考方法

提出された所得証明書や応募書類より[認定所得額]（日本学生支援機構奨学金の控除額の算出方法に準じ計算した額）を算出し、経済状態を確認した上で、成績・学習意欲を審査し京都3名、全国2名の候補者を、満場一致で選出した。

(4) 理事会の決議

平成24年6月13日の理事会で審議を経て、選考委員会より選出された5名に奨学金授与を決議した。

(5) 奨学金給付

平成24年 7月 前期分として給付金の半額を本人名義口座に振込にて給付。

平成24年 10月 後期分として給付金の残金を本人名義口座に振込にて給付。

■公益目的事業3（自主企画公演、展示・体験活動・セミナー・映画上映・演奏会等の文化祭の開催、ホームページでの情報発信、及び実施事業の記録）

（定款第4条第4項第5項第6項）

◆文化芸術普及活動事業

「創造する伝統 『杜の中の文化祭』 ～親子で“日本の匠の技”を体験～」

開催日：平成24年5月3日（木・祝） 10：00～17：00

会場：京都造形芸術大学・東北芸術工科大学 外苑キャンパス

主催：公益財団法人日本文化芸術財団

後援：京都造形芸術大学、東北芸術工科大学

協力：茶道裏千家、東京伝統木版画工芸協同組合、NPO 法人日本剪画協会

来場者：約200名

入場料：無料（ただし風鈴絵付けとあめ細工は実費徴収）

内容：ワークショップ（聞香・剪画）、呈茶、江戸糸操り人形公演、風鈴絵付け、あめ細工、江戸木版画 他

「杜の中の文化祭・グリーンチャレンジデー2012」

開催日：平成24年10月13日（土）・14日（日） 10：00～16：00

会場：新宿御苑 イギリス風景式庭園

主催：グレーター東京フェスティバル実行委員会

共催：環境省、新宿区 他

協力：公益財団法人日本文化芸術財団

来場者：約50名（イベント入場者 18,000名）

内容：剪画(切り絵)体験

『日本芸能史』全10回」

期間：平成24年10月3日より平成25年3月13日

会場：明治神宮 参集殿

主催：京都造形芸術大学・東北芸術工科大学 東京藝術学舎

協力：公益財団法人日本文化芸術財団

参加者：77名

内容：総論「神の芸能」、「明治神宮の年中行事」、実演「神楽」、実演「能」
実演「狂言」、総論「仏の芸能」、「浅草寺の年中行事」、
実演「聲明」・「鬼来迎」、実演「説教浄瑠璃」

「子ども芸術の家プロジェクト」支援

主催：東北芸術工科大学、京都造形芸術大学

協力：公益財団法人日本文化芸術財団

事務局：東北復興支援機構（TRSO）

※東北芸術工科大学「やまがた芸術学舎」内に、東日本大震災後において芸術とデザインの力によって被災地への復興支援を継続的に行うことを目的に平成23年5月に設置され、東北芸術工科大学および山形大学の学生・卒業

生が中心となり活動を行っている。

活動内容：被災地におけるワークショップの実施

被災した子供たちを対象とするアートキャンプの開催

一般公募によるワークショップ企画

活動状況の展示公開

「ブログ 四季おりおり ～わらべうたの旅～」

期 間：平成 24 年 4 月 1 日より平成 24 年 12 月 15 日

(平成 23 年 9 月 1 日より連載開始)

更 新：毎月 2 回 (1 日、15 日) 全 30 回更新

テーマ：伝承されてきた「わらべ歌」より日本文化、日本の心を探る

文 章：聞香箒門会宗匠 伊達晟聴氏

U R L： <http://blog.canpan.info/shikioriori>

「茶論 四季おりおり ～春の心を楽しむ～」

*平成 25 年度より実施予定の茶論「四季おりおり」のプレイベント

開催日：平成 25 年 3 月 23 日 (土) 13:00～15:00

会 場：江戸からかみ東京松屋

主 催：公益財団法人日本文化藝術財団

講 師：和文化プロデューサー 津田恵子氏

参加者：20 名

参加費：1,000 円

内 容：和のフラワー・アレンジメント・ワークショップ

※このプレイベントによる「文化藝術の会」入会者 7 名

◆その他

ホームページでの告知、情報公開